

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
担当部局	福祉保健部				担当課	国保・健康増進課		
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の健康寿命が延び、生涯現役社会となっている。 ・運動に慣れ親しみ、正しい生活習慣を身に付けた子どもが育っている。 							
数値目標	指標名	健康状態の管理や生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合					現計画からの引継	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		61.1% (H22年度)		57.1% (H26年度)		4.0ポイント		70% (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		57.1% (H26年度)	61.0%	64.0%	67.0%	70.0%	73.0%	73.0% (H32年度)
	指標設定 の理由	生活習慣を起因とする高血圧症や糖尿病などは、重症化して心筋梗塞や脳卒中など重篤な状態を招き、日常生活に大きな支障を生じることとなるため、自ら健康状態を把握して不健康な生活習慣を改善し、疾病の発症や重症化を予防していくことが必要である。						
目標値の 設定根拠	基準値(H26:57.1%)から段階的に高めて行き、最終的には、健康状態の管理や生活習慣の改善に取り組む人の割合を7割程度まで増やしていきたい。そのため、毎年3%の増加を目指すこととし、最終目標は、73%と設定している。							
指標データの 参照元	統計名 など	長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査			更新時期 スパン	毎年5月		

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
担当部局	教育庁				担当課	生涯学習課		
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の健康寿命が延び、生涯現役社会となっている。 ・運動に慣れ親しみ、正しい生活習慣を身に付けた子どもが育っている。 							
数値目標	指標名	ながさき県民大学(主催講座)における受講者の満足度					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		96.9% (H26年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		96.9% (H26年度)	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90%以上を維持 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>県及び市町、大学等で実施している生涯学習に関する事業の情報を体系的にまとめ、県民に効果的な学習機会を提供する「ながさき県民大学」の満足度を指標とすることで、県民が、いつでも、どこでも、学びたいことを学べるような、個々のニーズに柔軟に対応できる生涯学習環境の整備が図れると判断したため。</p>						
目標値の 設定根拠	<p>主催講座とは県と様々な団体との共催型の生涯学習講座であるが、この講座の受講者の大半が満足していると判断できる90%以上を毎年度維持することを目標値として設定した。</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	受講者へのアンケート調査		更新時期 スパン	毎年度(講座開催毎)			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
事業群	1 健康の保持増進と生活習慣病の予防					担当部局 担当課	福祉保健部 国保・健康増進課	
数値目標	指標名	全死亡者数に占める三大疾患(がん、心臓・脳血管疾患)死亡割合					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		54.3% (H22年) 全国55.7%		51.9% (H26年) 全国53.3%		2.4% 全国 2.4%		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		51.9% (H26年)	51.0%	50.5%	50.1%	49.6%	49.2%	49.2% (H32年)
	指標設定 の理由	健康障害要因となる生活習慣などが原因の3大疾患死亡割合を減少させる。						
	目標値の 設定根拠	各疾患の直近5年間における年平均減少率を参酌して基準値から2.7%減少する。 がんは、減少がみられないため同期間中の最低値を設定						
								基準値
			H22	H23	H24	H25	H26	
	がん		28.9	28.6	28.2	28.6	28.8	
心疾患		15.8	15.9	15.3	15.6	15.0		
脳血管疾患		9.6	9.0	9.1	8.6	8.1		
3疾患計		54.3	53.5	52.6	52.8	51.9		
		H26/H22	年平均減少率(直近5年間)	(H27期待値)				
がん		1	-	28.2				
心疾患		0.95	0.01	14.9				
脳血管疾患		0.84	0.032	7.8				
3疾患計		0.96	0.009	51.4				
							最終目標	
		H28	H29	H30	H31	H32		
がん		28.2	28.2	28.2	28.2	28.2		
心疾患		14.7	14.6	14.4	14.3	14.1		
脳血管疾患		7.6	7.3	7.1	6.9	6.7		
3疾患計		51.0	50.5	50.1	49.6	49.2		
指標データの 参照元	統計名 など	人口動態統計(概数)			更新時期 スパン	毎年6月		

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
事業群	2 高齢者の社会参加と活躍促進					担当部局 担当課	福祉保健部 長寿社会課	
数値目標	指標名	長崎県ねりんピック等の参加者数					現計画か らの引継	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		5,376人 (H22年度)		5,790人 (H26年度)		414人 (7.7%)増		5,500人 (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		5,790人 (H26年度)	5,900人	5,925人	5,950人	5,975人	6,000人	6,000人 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>高齢者の生きがいづくりや健康づくりを図るため、各種スポーツ・文化交流大会等取り組んでおり、その成果として、高齢者の社会参加と活躍促進が図られていることから、県ねりんピック等の参加者数を目標とすることが適当と判断したため。</p>						
目標値の 設定根拠	<p> 参会者数の推移 ・全国大会が開催される平成28年度は、直近4か年の平均伸び率(1.925%)を目指す。$5,790人 \times 1.01925 = 5,901$ 5,900人 ・全国大会終了後(平成29年度以降)は、全国大会開催に向けて実施していた、特定種目への参加を促進するための「ホップ・ステップ・ジャンプ事業」から、地域内の自主的な活動等の指導者を育成するための「アクティブ・エイジングサポート事業」にシフトして活動を維持していくこととしているが、スポーツ大会については参加者数の減少が見込まれることから現状維持を目標とし、生きがい作品展などの文化交流大会については、これまでの推移等を考慮し、年25人の増加を目標とする。 </p>							
指標データの 参照元	統計名 など	長崎県すこやか長寿財団の実績 報告書		更新時期 スパン	毎年6月末(前年度値)			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる								
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現								
事業群	3 食育の推進						担当部局 担当課	県民生活部 食品安全・消費 生活課	
数値目標	指標名	「食に関すること」について、興味のある人の割合						現計画か らの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標	
		-		63.2% (H27年度)		-		-	
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)	
		63.2% (H27年度)	64.0%	65.5%	67.0%	68.5%	70.0%	70.0% (H32年度)	
	指標設定 の理由	<p>県民の体と心の健康を増進し、豊かな人間形成に資するため、食育に関する啓発活動を始めとする各種の取組を進めることで、食の重要性に関心を持つ人が増加することから、興味のある人の割合を目標とすることが適当であると判断したため。</p>							
目標値の 設定根拠	<p>平成27年度アンケート調査において、「時代や社会の変化に伴い、食習慣も変わり、食に関するさまざまな課題も生じてきています。長崎県ではこれらに対処するため食育を推進していますが、あなたは、「食に関すること」について、興味や関心がありますか。」との設問に対して、「ある」と答えた人の割合は63.2%（大いにある、どちらかといえばあると答えた人の合計）であった。</p> <p>県民の意識を高め、食への関心を向上させることは、一朝一夕に達成できるものではないが、取組の強化により基準値の約10%増を目指す。</p>								
指標データ の参照元	統計名 など	長崎県の取組に関する県民意識ア ンケート調査		更新時期 スパン	毎年5月				

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
事業群	4 子どもたちの体力の向上と学校体育の推進					担当部局 担当課	教育庁 体育保健課	
数値目標	指標名	「体育の授業で運動のやり方やコツがわかった」児童生徒の割合					現計画か らの引継	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		85.0% (H21年度)		88.9% (H26年度)		3.9%		90.0% (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		88.9% (H26年度)	90.0% 以上を 維持	90.0% 以上を 維持	90.0% 以上を 維持	90.0% 以上を 維持	90.0% 以上を 維持	90.0% 以上を維持 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>国の目標として「子どもの体力の低下に歯止めをかけ、体力水準がピークであった昭和60年頃の体力水準への回復を目指すこと」が示されている。そのため、児童生徒の体力や生活習慣、運動習慣等の現状把握及びその結果の分析・課題解決への取り組みとして、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が平成20年度から実施されている。その調査結果において、「望ましい運動習慣や生活習慣が身についている」、「体育授業において肯定的な意識の向上が見られる」児童生徒は体力合計点が高いことがわかっている。</p> <p>体力向上のためには、体育授業の充実が大きな柱であり、教員の指導力が大きく影響する。そのため、教員の指導力向上と体育授業に肯定感を持つ児童生徒を計ることのできる指標として設定した。</p>						
目標値の 設定根拠	<p>現総合計画では、平成27年度目標として、90.0%とした。 平成21年度からは、次のような推移を示している。</p> <p>平成21年度 85.0% 平成22年度 86.5% 平成23年度 87.1% 平成24年度 88.5% 平成25年度 88.0% 平成26年度 88.9%</p> <p>「体育の授業で、運動のやり方やコツがわかった」という質問に対して、児童・生徒の割合100%を目指し、年次的に数値を上げることも考えられるが、児童生徒の意識を100%とすることは不可能であるため、現行の最終目標であった90.0%以上を維持していくことを数値目標とした。</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	全国体力・運動能力、運動習慣等 調査		更新時期 スパン	毎年12月			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる								
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現								
事業群	5	子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた学校・家庭・地域が連携した健康教育の推進					担当部局 担当課	教育庁 体育保健課	
数値目標	指標名	12歳児(中1)の永久歯平均う歯数(DMFT)					現計画からの引継	-	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標	
		1.6本 (H21年度)		1.1本 (H26年度)		0.5本		-	
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)	
		1.1本 (H26年度)	1.05本	1.0本	0.95本	0.9本	0.85本	0.85本 (H32年度)	
	指標設定 の理由	<p>歯と口は人の活動のエネルギーや体を育む栄養を摂取する上で重要な器官の一つで、健康寿命との関わりも大いにある。何よりも、むし歯は一度かかると治らない生活習慣病の一つでもあり、本県としてはフッ化物洗口実施を推進しているところであることから、むし歯予防を通して、「健康な生活に必要な資質や能力を育てること」や「望ましい生活習慣の定着」といった健康教育の充実を図るとともに、本県の将来を担う子どもたちの生活習慣病の予防に繋がるよう永久歯平均う歯数(DMFT)の低下を目指すため。</p>							
目標値の 設定根拠	<p>H29年度までにフッ化物洗口実施率100%(小学校)を目指しているが、他県の例からしても、12歳児(中1)のう歯数減に大きく反映するには数年かかることから、まずは、今後5年間で全国平均(H26年度=1.0本)を下回ることを目指す。</p>								
指標データの 参照元	統計名 など	学校保健統計調査 12歳児(中1)の永久歯平均う歯 数(DMFT)の集計			更新時期 スパン	毎年4月			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
事業群	6 生涯スポーツの振興と県民(特に高齢者)の健康増進					担当部局 担当課	企画振興部 スポーツ振興課	
数値目標	指標名	成人の週1回以上のスポーツ実施率					現計画か らの引継	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		46.9% (H21年度)		43.7% (H27年度)		3.2ポイント		65% (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		43.7% (H27年度)	-	-	-	-	65%	65% (H32年度)
	指標設定 の理由	県民(成人)の誰もがそれぞれのライフステージにおいて、日常的にスポーツに親しむことによって、心身ともに健康で活力ある生涯をおくるため、スポーツに取り組む県民(成人)の割合とした。						
目標値の 設定根拠	平成27年に県民に対し、スポーツ実態に関するアンケート調査を行った結果、今後も週1回以上スポーツを行いたい人の割合が、64.1%であった。このことから、成人の週1回以上のスポーツ実施率を65%と設定した。							
指標データの 参照元	統計名 など	県民のスポーツ実態に関するアンケート調査			更新時期 スパン	5年ごと		

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
事業群	7 豊かな人生を支える県民の生涯学習環境の整備					担当部局 担当課	教育庁 生涯学習課	
数値目標	指標名	ながさき県民大学の講座受講者数					現計画か らの引継	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		520,911人 (H21年度)		526,661人 (H26年度)		5,750人		525,000人 (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		526,661人 (H26年度)	526,000 人	527,000 人	528,000 人	529,000 人	530,000 人	530,000人 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>県及び市町、大学等で実施している生涯学習に関する事業の情報を体系的にまとめ、県民に効果的な学習機会を提供する「ながさき県民大学」の受講者数を指標とすることで、県民が、いつでも、どこでも、学びたいことを学べるような、個々のニーズに柔軟に対応できる生涯学習環境の整備が図れると判断したため。</p>						
目標値の 設定根拠	<p>平成28年度の「ながさき県民大学」の講座情報などを発信するツールである「ながさきまなびネット」をより利用者が使いやすいようリニューアルを行う予定である。リニューアル後は受講者が毎年1,000人ずつ増えることを目標として、次期計画期間中に530,000人の受講者を目指すこととしたい。</p>							
指標データ の参照元	統計名 など	講座実施団体への照会			更新時期 スパン	毎年度(講座開催毎)		

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現							
事業群	8 地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化					担当部局 担当課	教育庁 生涯学習課	
数値目標	指標名	公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者における満足度					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		98.0% (H26年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		98.0% (H26年度)	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90% 以上を 維持	90%以上を維持 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>地域社会における人づくり、地域づくりを進めていく上で社会教育が果たす役割は大きく、社会教育活動を推進していく上で中心的な役割を担う市町社会教育主事や公民館職員、社会教育団体の関係者の資質向上を図る必要がある。</p> <p>そのため、社会教育関係者の資質向上を目的とした「公民館職員等研修会、県公民館大会、県社会教育研究大会」について社会情勢や参加者のニーズに応じた満足度の高い研修会や大会にする必要があることから目標値として設定した。</p>						
目標値の 設定根拠	<p>公民館職員等研修会、県公民館大会、県社会教育研究大会の参加者の大半が満足していると判断できる90%以上を毎年度維持することを目標値として設定した。</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	参加者へのアンケート調査		更新時期 スパン	毎年度(研修会、大会開催毎)			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	2 女性の活躍推進							
担当部局	県民生活部				担当課	男女共同参画室		
将来像	男女が家庭・地域・職場において、個性と能力を十分に発揮できる、誰もが暮らしやすい環境が整えられている。							
数値目標	指標名	事業所における管理職(係長級以上)に占める女性の割合					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		23.7% (H26年度)		23.7% (H26年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		23.7% (H26年度)	26%	27%	28%	29%	30%	30% (H32年度)
	指標設定 の理由	管理職に占める女性比率は、女性の活躍の成果を示す指標であるため。						
目標値の 設定根拠	<p>県の「労働条件等実態調査」による管理職(係長相当職以上)に占める女性の割合を採用。他県の指標を参考とし、国の目標値を念頭に設定。</p> <p>【和歌山県の指標】 事業所における指導的立場(係長相当職以上)に占める女性の割合 H26 15.9% H31 25%</p> <p>【国の目標値】 社会のあらゆる分野において、2020年(H32年)までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待する</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	長崎県労働条件等実態調査			更新時期 スパン	毎年3月		

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	2 女性の活躍推進							
事業群	1 あらゆる分野における男女共同参画の推進					担当部局 担当課	県民生活部 男女共同参画室	
数値目標	指標名	「男女共同参画社会」という用語の認知度					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		79.2% (H27年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		79.2% (H27年度)	80.0%	81.0%	82.0%	83.5%	85.0%	85.0% (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>イベント等による広報啓発、男女共同参画推進センターによる情報提供、地域の活動支援等に取り組んでいるが、「平成26年度男女共同参画社会に向けての県民意識調査」(男女共同参画室が5年ごとに実施)によると「男女共同参画社会」の認知度は73.2%であり、男女共同参画社会の推進を図る上でも認知度の向上は重要であることから適当と判断した。</p>						
目標値の 設定根拠	<p>平成27年度に実施した県民意識アンケートによると、「あなたは、『男女共同参画社会』という言葉を知っていますか」という設問において、認知度(「内容まで知っている」「聞いたことはあるが内容は知らない」という人の合計)は79.2%であった。</p> <p>「男女共同参画社会に向けての県民意識調査」における同様の設問において、平成21年度69.8%、平成26年度73.2%(3.4ポイント上昇)であったことを踏まえ、さらなる取組の推進により、平成32年度の目標値を85.0%(5.8ポイント上昇)に設定する。</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査		更新時期 スパン	毎年5月			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	2 女性の活躍推進							
事業群	2 女性のライフステージに応じた就労支援及び男女がともに働きやすい環境の整備					担当部局 担当課	県民生活部 男女共同参画室	
数値目標	指標名	「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		16人 (H26年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		16人 (H26年度)	219人	226人	232人	232人	232人	232人 (H32年度)
	指標設定 の理由	女性の年間就職者数は、「女性のライフステージに応じた就労支援」の成果を示す指標であるため。						
目標値の 設定根拠	<p>長崎県総合就業支援センター(ウーマンズジョブほっとステーションを含む)のオープン当初、産業労働部において、全体の年間相談者数6,700人、就職者数2,400人をベースに設定。そのうち、ウーマンズジョブほっとステーションについては、相談者数500人、就職者数200人となっている。 詳細は下記のとおり。</p> <p>【考え方】 相談者数を500人に設定。 ・相談者数 = 類似の国・県併設施設の利用者数 × うち県施設利用率 = 1,743人 × 27.6% = 481人 500人に設定 就職者数のベースを200人に設定。 ・就職者数 = 相談者数 × 類似施設の就職率(就職者数 ÷ 相談者数) = 500人 × 37.4% = 187人 ベースを200人に設定 就職者数は、過去の伸び率を参考に、H30年度まで年3%増とし、以降据え置き。</p> <p>【年度ごとの目標値の計算】 H25ベース 200人(開設前のベースの数字として設定) H26目標値 200 × 1.03 = 206人 (当初半年間の開設予定だったため、実際の目標値は103人) H27目標値 206 × 1.03 = 212.18 213人 H28目標値 212.18 × 1.03 = 218.5454 219人 H29目標値 218.5454 × 1.03 = 225.1018 226人 H30目標値 225.1018 × 1.03 = 231.8548 232人(以降据え置き)</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数		更新時期 スパン	毎年4月			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	2 女性の活躍推進							
事業群	3 女性の人材育成と活躍促進					担当部局 担当課	県民生活部 男女共同参画室	
数値目標	指標名	女性人材ネットワーク登録件数(累計)					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		0件 (H26年度)		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		0件 (H26年度)	60件	70件	80件	90件	100件	100件 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>大浦お慶プロジェクトにおいて、平成27年度から組織・地域等でのリーダーとなる女性を育成し、ネットワークを構築して情報発信・収集、交流等を行うことにより、女性の地域活動の促進や企業等における女性の登用促進など、女性の活躍機会の拡大を図ることとしている。こうした女性リーダーを育成し、人数を増やすことを目標として取り組むことで、女性の活躍を促進できるものと考えられるため。</p>						
目標値の 設定根拠	<p>事業初年度であるH27年度の目標を50件とし、以降は女性リーダー育成研修の受講者目標30人の中から、ロールモデルにふさわしい人を毎年10人登録することを目指す。</p> <p>参考 H27大浦お慶プロジェクト事業において、地域のリーダーとなるような女性人材の育成(女性リーダー育成研修)を行うとともに、地域や組織等で活躍できるような女性人材の登録・検索ができるようホームページの改修を行い、女性人材ネットワークとして公開する予定。掲載した女性人材は、講演の講師、審議会等の委員、セミナーのファシリテーターなどとして活躍していただくことを想定している。</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	輝く女性応援サイト(仮称)掲載の 女性人材の数			更新時期 スパン	毎年4月		

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる								
施 策	3 多様な主体が支えあう地域づくりの推進								
担当部局	県民生活部				担当課	県民協働課			
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が生きる喜びや張りあいなど生きがいを感じ、積極的に地域社会に参画している。 ・県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業など多様な主体による地域課題解決の取組が広く行われ、ともに支え合う地域となっている。 ・誰でもいつでも環境を学ぶ場、活動に取り組む場が提供され、地域で環境が守られ資源として活用されている。 								
数値目標	指標名	市民活動団体等の数						現計画からの引継	
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標	
		2,320団体 (H21年度)		2,905団体 (H26年度)		585団体 (25%)上昇		2,900団体 (H27年度)	
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)	
		2,905団体 (H26年度)	2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905団体以上 (H32年度)	
	指標設定 の理由	<p>多様化する県民ニーズや地域課題の解決にきめ細かに対応するためには、行政だけの力では困難であり、県民やNPO法人、ボランティア団体、企業など様々な主体による取組が広く行われる必要がある。そのため、継続的、自発的な社会貢献を行う市民活動団体等(NPO法人・ボランティア団体等)の数を維持し、活動を促進することで、ともに支えあう地域づくりが推進されると判断したため。</p>							
目標値の 設定根拠	<p>市民活動団体等の数は、平成26年度に初めて減少に転じており(26年度:2,905団体(前年度比 1.9%、56団体の減))、今後、人口減少や超高齢社会の急速な進展により、活動の担い手の確保が難しくなるなか、毎年度、基準年度の市民活動団体等の数以上の水準を確保することを目指すこととする。 2,905団体以上(毎年度)</p>								
指標データの 参照元	統計名 など	市民活動団体等基本調査			更新時期 スパン	毎年12月末			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる								
施 策	3 多様な主体が支えあう地域づくりの推進								
担当部局	企画振興部				担当課	地域づくり推進課			
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が生きる喜びや張りあいなど生きがいを感じ、積極的に地域社会に参画している。 ・県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業など多様な主体による地域課題解決の取組が広く行われ、ともに支え合う地域となっている。 ・誰でもいつでも環境を学ぶ場、活動に取り組む場が提供され、地域で環境が守られ資源として活用されている。 								
数値目標	指標名	新たな地域づくり担い手団体数(累計)						現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標	
		-		-		-		-	
	目標値	基準値(基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(目標年)	
		-	20団体	40団体	60団体	80団体	100団体	100団体(H32年度)	
	指標設定の理由	集落維持のためには、多様な実施主体(担い手)による取組が必要であり、その成果をあらわす上記指標が適切と考える。							
目標値の設定根拠	地域づくりを担う新たな団体の毎年度20団体ずつの増加を目指す。(例:各市町毎年度1団体程度)								
指標データの参照元	統計名など	支援事業における実績に基づく			更新時期 スパン	毎年4月実績確認による			

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	3 多様な主体が支えあう地域づくりの推進							
事業群	1 多様な主体が地域課題の解決を担う社会づくり					担当部局 担当課	県民生活部 県民協働課	
数値目標	指標名	NPO法人の新規設立数					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		26法人 (H22年度)		24法人 (H26年度)		2法人 (8%)減少		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		24法人 (H26年度)	22法人 以上	22法人 以上	22法人 以上	22法人 以上	22法人 以上	22法人以上 (H32年度)
	指標設定 の理由	<p>多様化する県民ニーズや地域課題の解決にきめ細かに対応するためには、行政だけの力では困難である。県民やNPO法人、ボランティア団体、企業など様々な主体による取組が広く行われる必要があり、特に、社会貢献活動の主体として、地域において活発に活動を行っているNPO法人の新規設立を促進することで、ともに支えあう地域づくりが推進されると判断したため。</p>						
目標値の 設定根拠	<p>人口減少や超高齢社会の急速な進展により、活動の担い手の確保が難しくなっており、基準年度の新規設立数に直近5カ年におけるNPO法人の新規設立数の平均伸び率(6.49%)を乗じた数以上の水準維持を目指すこととする。 $24\text{法人(基準値)} \times 6.49\% \text{(H22～H26平均伸び率)} = 22\text{法人以上(毎年度)}$</p>							
指標データの 参照元	統計名 など	NPO施行事務			更新時期 スパン	毎年度末		

戦 略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施 策	3 多様な主体が支えあう地域づくりの推進							
事業群	2 地域を支える拠点づくり					担当部局 担当課	企画振興部 地域づくり推進課	
数値目標	指標名	新たに集落維持・活性化に取り組んだ件数(累計)					現計画からの引継	-
	現 状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		-		-		-		-
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		-	5件	9件	12件	16件	21件	21件 (H32年度)
	指標設定 の理由	集落の維持・活性化を図るため、モデル的な取組を作り、他の地域に波及させていく必要があり、その成果をあらわす指標として上記指標が適切と考える。						
目標値の 設定根拠	集落維持のモデル事業を平成27年度から3年間実施する(毎年2件)。その成功事例を平成28年度以降、他地域へ波及させていく。(毎年1件ずつ段階的に波及。H28:1、H29:2、H30:3、H31:4、H32:5)							
指標データの 参照元	統計名 など	支援事業における実績に基づく		更新時期 スパン	毎年4月実績確認による			

戦略	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる							
施策	3 多様な主体が支えあう地域づくりの推進							
事業群	3 持続可能な社会の構築のための環境保全活動の促進や環境教育等の推進					担当部局 担当課	環境部 未来環境推進課	
数値目標	指標名	身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合					現計画からの引継	
	現状	基準値(A)		最新値(B)		備考(B-A)		現計画最終目標
		70% (H22年度)		64% (H26年度)		6%減少		75% (H27年度)
	目標値	基準値 (基準年)	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標 (目標年)
		63% (H25年度)	70.2%	72.6%	75%	75%	75%	75% (H32年度)
	指標設定の理由	<p>環境保全活動の促進や環境教育等の推進については、平成26年3月に策定した「長崎県環境教育等行動計画」に基づき、「身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合」を指標として取組を進めている。県民一人一人が地球温暖化や循環型社会の形成などについて関心を高め、自主的に身近な環境保全活動に取り組むことで、その成果として持続可能な社会を構築することができることから、「身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合」を目標とすることが適当と判断したため。</p>						
	目標値の設定根拠	<p>身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合は、H22:70%、H23:68%、H24:68%、H25:63%、H26:64% と低下傾向にあるが、本調査を開始した平成22年度の70%を上回る75%を目指すこととした。 なお、県環境教育等行動計画においては、目標年度である平成30年度までに75%を目指すこととしているため、平成31年度以降は75%を維持することとした。</p>						
指標データの参照元	統計名など	長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査			更新時期 スパン	毎年5月		